

|   |  |                     |          |
|---|--|---------------------|----------|
| <p>支えあい活動内容<br/>(分類)</p>  | <p>□外部からの異変発見活動 ■安否確認・声かけ □イベントの実施<br/>□町会活動を利用した活動 ■地域情報の把握 □困りごと相談<br/>■その他（挨拶状の作成・配付、訪問記録の作成）</p> |                     |          |
| <p>圏域（町会）</p>   | <p>南部（C-1）</p>   | <p>見守り支えあい名簿の提供</p> | <p>有</p> |
| <p>《活動内容》見守り対象者名簿の提供を受け、町会では、実際に見守り活動を始めるにあたり、次の準備を行った。</p> <p>名簿登載者の中には、町会役員や活動従事者が状況を把握している人も含まれているので、情報を持ち寄り訪問等による状況把握が必要な対象を絞り込んだ。（名簿登載者数184名→訪問等対象者42名）</p> <p>効果的な見守り活動が行えるよう、見守り対象者名簿のデータを元に担当ブロック毎のマップを作成した。</p> <p>事前準備で絞り込んだ訪問対象者について、一切状況把握ができていない人から優先的に訪問活動を開始した。</p> <p>活動を始める前に、見守り訪問活動を実施する旨のお知らせを作成し、町会掲示板、回覧板等で広く周知し、さらに訪問対象者には、個別に訪問のお知らせ文を届けた。</p> <p>訪問活動は、町会長、対象者が居住している区域の町会役員、担当の民生委員で実施した。民生委員については、民生委員としての活動で知り得た情報を本人の前であっても言わないよう守秘義務の徹底をお願いした。</p> <p>訪問活動の結果、現状の確認ができない8人について、後日、民生委員、すこやか福祉センター職員、区民活動センター職員に確認を依頼した。</p> <p>訪問活動によって、これまで利用していた銭湯が近々廃業することとなり、入浴について困っていた人を地域包括支援センターにつないだ結果、週2回ではあるが、デイサービスでの入浴が可能となった事例があった。</p> <p>また、災害時の避難について、バリアフリー環境が整っている避難所を案内した事例、目や耳の不自由な方には緊急通報システムの周知を行った事例などがあった。</p> <p>今回の訪問活動をとおり、見守り対象者名簿登載者について、ほぼ現状を把握することができた。今後も定期的な町内のパトロールなどで、引き続き見守り活動を継続していく。</p>   |  |                     |          |
| <p>《成果・課題等》</p> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り活動の取組みを通して、町会として改めて地域の状況をよく確認できたことが大きな成果であった。</li> <li>・訪問活動をきっかけに、町会への加入についても考えてもらえるようになり、町会加入促進の取組みにもつながった。</li> <li>・訪問活動について、回覧板やお知らせ等で、事前周知を行ったことで、訪問を拒否されることもなくスムーズに活動が行えた。むしろ、訪問することを楽しみに待っていた人もいた。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急連絡カードの登録申請が必要と思われる人でも、制度の存在や、登録の方法などを知らない人が多く、広く周知する活動が必要だと感じた。</li> <li>・マンション、アパート等では、町会に加入している人が少ない上に、住人同士のつながりがほとんどないため、見守り訪問活動の難しさを感じた。しかし、災害時や緊急時には、地域の一番身近なコミュニティである町会が果たす役割は大きく、身近な町会の活動をもっとPRして、さらに加入促進の取組みを進めていく必要がある。</li> </ul> <p>(まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会による見守り活動は、民生委員の活動と重なる点も多いが、民生委員とは立場が違う。町会による見守り活動は、必要以上に踏み込まず、自分は地域から見守られているということを知ってもらい、見守られている意識や安心感を持ってもらうことが大切なのではないか。</li> <li>・町会による見守り活動は今後も継続していくが、特別なことではなく、町会の日常的な活動や、普段の生活の中で、見守る側、見守られる側双方が負担感なく、さりげない自然な形での見守り活動の輪が広がっていくことを期待する。</li> </ul> |  |                     |          |

|  |   |                     |          |
|--|---|---------------------|----------|
| <p>支えあい活動内容<br/>(分類)</p>   | <p> <input checked="" type="checkbox"/>外部からの異変発見活動    <input type="checkbox"/>安否確認・声かけ    <input type="checkbox"/>イベントの実施<br/> <input checked="" type="checkbox"/>町会活動を利用した活動    <input type="checkbox"/>地域情報の把握    <input type="checkbox"/>困りごと相談<br/> <input type="checkbox"/>その他（集合住宅管理人との連携） </p> |                     |          |
| <p>圏域（町会）</p>  | <p>南部（C-2）</p>  | <p>見守り支えあい名簿の提供</p> | <p>有</p> |
| <p>《活動内容》</p> <p>各地区の班長（8班）にその班の地区の見守り対象者名簿登載者を伝え、日常的に見守り活動を行っている。</p> <p>また、防犯パトロール等通常の安全活動の中で「気づき」を意識して巡回している。</p> <p>巡回時や近所からの情報で異常が認められれば速やかにすこやか福祉センターに連絡する態勢をとっている。</p> <p>町会の毎回の理事会時において、「支えあい活動について」という議題を設け、異常の有無を確認している。</p> <p>町会内にある大規模マンションでは見守り対象者名簿登載者が40人程度いることがわかった。管理人が通常行う巡回時や清掃時に、新聞や郵便物をチェックし、異常があれば通報する態勢をとっている。</p> |   |                     |          |
| <p>《成果・課題等》</p> <p>従来町会でやっていることを変えることなく、通常の安全活動の中に含めることにより、負担なく継続して活動できる。</p> <p>また通常の町会の活動の中でも「気にかける」ということを実践するようになったことによって、地域の輪が拡がりつつある。</p> <p>前述のマンションにおいて、異変の通報を受けた管理人が速やかに警察及び親族に通報し、即座に鍵を開け部屋に入ることができた事例があった。その結果死亡してはいたが、迅速な発見につながった。</p> <p>今後、見守り対象者名簿の登載者に、安否確認のチラシを投函することを検討する。</p> <p>災害時の見守りをどうするかが課題である。</p>                |   |                     |          |

|   |  |              |   |
|---|--|--------------|---|
| 支えあい活動内容<br>(分類)  | <input type="checkbox"/> 外部からの異変発見活動 <input type="checkbox"/> 安否確認・声かけ <input checked="" type="checkbox"/> イベントの実施<br><input checked="" type="checkbox"/> 町会活動を利用した活動 <input type="checkbox"/> 地域情報の把握 <input type="checkbox"/> 困りごと相談<br><input type="checkbox"/> その他 |              |   |
| 圏域(町会)  | 南部(C-3)  | 見守り支えあい名簿の提供 | 無 |
| <p>《活動内容》</p> <p>地域・隣近所同士のつながりをつくることを意識して、敬老祝品配布、新1年生への祝品配布なども工夫をして実施している。回覧板や防犯パトロールなど日常的な活動も、これらをとおして隣近所で声をかけあったりするきっかけにしたいという思いで行っている。</p> <p>町内に50ほどある地区の地区長は、回覧板を回したり、募金や町会費を集めたりすることとおして、担当する地区に住む町会員の状況については概ね把握している。</p> <p>敬老祝品を配布するために、毎年70歳以上の方の名簿を作成している。数年前から、町会の役員と近所の子どもと一緒に祝品を配布する取り組みを行っている。子どもが自分の名前などを書いたしおりを持参して、高齢者に渡している。この取り組みは、地域で高齢者と子どもが顔見知りになる機会をつくり、日常的に地域であいさつをしたり、声をかけたり、ちょっと気にかけてりするつながりをつくりたいという思いではじめた。</p> <p>毎年1月に実施する町会の餅つき行事の際には、上記の名簿を活用して、12月に地区長が訪問のうへ「敬老お餅引き換え券」を配布し、当日は高齢者に神社まで足を運んでもらっている。お餅を引き換えて帰宅する高齢者もいるが、町会が用意した豚汁を食べながら歓談して帰る高齢者もいる。当日、足を運べない高齢者には、地区長がお餅を届けている。高齢者が外出する機会をつくり、町会や地域の人たちと顔見知りになることなどをねらって実施しているが、町会の役員が高齢者の様子を確認する機会にもなっている。</p> <p>防災会に配布されている災害時の要援護者の名簿に登載されている方については、民生委員と町会役員とで一緒に訪問している。</p> |  |              |   |
| <p>《成果・課題等》</p> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老祝品配布のための名簿作成、町会の役員と地域の子どもによる高齢者宅の訪問、高齢者の餅つき行事への参加などとおして、高齢者と地域・隣近所のつながりができている。</li> <li>・上記の取り組みが、町会や地域・隣近所が高齢者の状況を気にしたり確認したりして、見守り取り組みにつながっている。</li> </ul> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会に加入していない世帯も多い。町会は地域・隣近所のつながりをつくるさまざまな活動に取り組んでいるので、ぜひ、町会に加入してほしい。一緒に地域や隣近所とのつながりをつくっていききたいと思っている。</li> </ul>   |  |              |   |